

地域防災を効果的に推進するために必要な 男女共同参画の視点について

1. 審議するテーマ

東日本大震災では、避難所等において女性が声を上げにくい、意見が反映されにくいという状況がみられた。その一方で、地域によっては、女性が支援者として積極的に関わり、地域全体として共助の活動がうまく展開したという事例もあった。

これまで、地域防災は、消防団などを始め男性が中心となって担ってきた面が強かったが、地域での防災活動を促進し、自主防災力の向上を図るためには、特に、女性の参画を進めることが喫緊の課題である。

地域における女性リーダー育成の考え方など、地域防災における自助・共助活動を効果的に推進するために必要な男女共同参画の視点について議論する。

2. 第1回審議会の進め方

(1) 地域防災の仕組み・行政における取り組み

消防局減災推進課 主査 山田耕太郎

- 仙台市における地域防災の取り組み
- 東日本大震災において発生した地域防災の課題
- 今後取り組もうとしていること

(2) 震災時に地域で起こったこと

六郷地域包括支援センター センター長 渡邊美智子

- 震災発生後、地域の女性たちに起こったこと、女性たちの動き
- 平時から、どんなことに取り組むことが必要と感じたか

(参考) 今後のスケジュール

- 7月 第2回審議会 市民団体等からのヒアリング・情報提供
- 9月 第3回審議会 提言(案)の検討・平成23年度個別事業の進捗状況報告
- 11月 第4回審議会 提言の決定
- 1月 次年度のテーマの検討